

現場で働く皆さんへ

事故事例連絡書(再発防止行動)

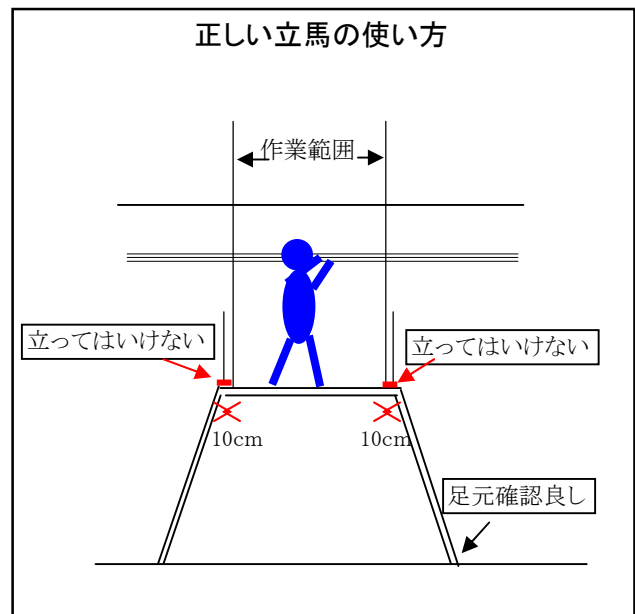
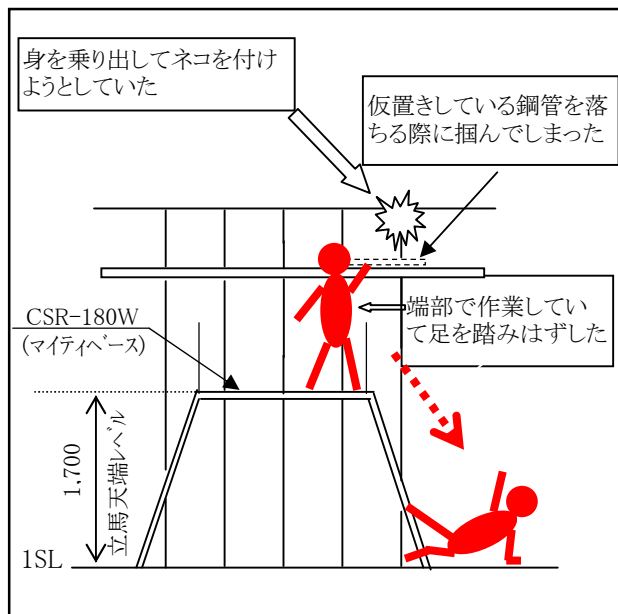
毎日のお仕事お疲れ様です。

日頃より、皆さん方には環境の厳しい中をご苦労いただいております。

安全の基本は、自らの技能を磨き続けて、自分の身は自分で守ることにあります。特に、近年は現場の災害も不安全行動が原因となっているものがほとんどです。仕事の節目節目には1人KYを実施して、危険を排除してから仕事を行ってください。今回、下記の通り、災害が発生しました。会社として、対策と再発防止行動をまとめましたので、各現場とも安全には十分に留意して、不安全行動を防止してください。

1 発生状況

- 1 発生日時 平成22年1月15日(金) 午前9:40頃 天候:晴れ
- 2 発生場所 ○○○○○○新築工事 における 型枠工事
- 3 被災者 氏名:上西康彦さん 年齢:43歳 性別:男 経験:21年 作業所勤務:33日 職種:型枠大工
- 4 雇用関係 雇用会社:川路工務店(2次)
- 5 傷病 右橈骨遠位端関節内骨折
- 6 発生状況



2 発生の要因

- 1 作業態勢 立馬から身を乗り出して作業を行った。
- 2 1人KY これから行う作業と立馬の位置について、状況の確認を怠った。
- 3 作業手順 パネルジョイント部に、先行して付けるネコを、先行付けしていなかった。
仮置き鋼管が、固定されていないかった。

3 対策

- 1 作業態勢 立馬作業において、身を乗り出すような作業はしない。
- 2 立馬の状態 これから行う作業に、適正な位置に立馬を設置する。
- 3 1人KY 立馬作業前に、設置された立馬上での作業を限定する。
仮置き鋼管はなるべく早く、所定位置に移動して仮止めをする。

4 再発防止行動

- 1 災害事例 本報告書を災害事例として全員に周知する。
- 2 指差呼称 立馬作業前に、立馬の状況を確認する。
- 3 作業行動 足を外す危険の恐れがある端部には立たない。
- 4 1人KY 設置した立馬を見て、立馬上での作業を限定する。

平成22年1月16日

〒535-0005 大阪市旭区赤川2丁目2番23号

株式会社フォービル

代表取締役 森本隆之